カウンセリング的対話（木曜日　12回　１８：３０～２１：００）

担当者	楠本和彦（南山大学人文学部心理人間学科助教授） 中村和彦（南山大学人文学部心理人間学助科教授）
概要	＊昨年は「カウンセリング的対話の実際」として、日常の様々な場におけるカウンセリング的対話のあり様、工夫、留意点を考えていきました。今年はもう一度、基本にもどってコミュニケーションやカウンセリングの実習を行い、そこでの体験を通じて自分自身の聴き方について気づきながら、日常の対話の中で相手の話を共感的に聴く能力（感受性）を高めることを目的にした講義を行います。 講座の中では、コミュニケーションの実習を通して、自分の体験から自分自身の聴き方の特徴やあり方を見つけていきます。（したがって、カウンセリングについての講義は最小限になります）。子どもの声をうまくキャッチできないと感じている方や、友達や同僚の悩みをもっとうまく聴きたいと感じている方など、日常の中でのカウンセリング的な援助の力を身につけたいと思っている方にお勧めです（カウンセリングの専門家を育てるコースではありません；あくまでも日常の中でのカウンセリング的関わりができることをねらいにして講座を進めていきます）。 ＊実習「ミニ試行カウンセリングⅠ」では、対話をテープに録音し、逐語録を時間外で作成していただきます。逐語録の作成には時間と労力がかかります。また、「ミニ試行カウンセリング」のグループによる検討の際には、自分の内面的な事柄が、取り扱われることもあります。受講される場合にはご了承ください。 ＜講義の流れ（予定）＞ 第１回　ねらいの共有化 第２回　実習「How do you feel the counselor?」 第３回　実習「聴く」 第４回　実習「たずね、こたえ、観察する」 第５回　実習「ミニ試行カウンセリングⅠ」の実施 第６回～第１０回　「ミニ試行カウンセリング」のグループによる討議 第１１回　実習「ミニ試行カウンセリングⅡ」 第１２回　実習「私のカウンセリング理論作り」
日程	2001年　9/27、10/4、10/11、10/18、10/25、11/1、11/8、11/15、11/22、11/29、12/6、12/13
定員	16名
会場	南山大学　D棟
研修費	39,900円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）